

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2025年総目次(246~257号。全12号配信)

246号: 2025年1月5日 (22頁)

- 論文：診療報酬地域差の導入・撤廃の経緯を探る

(「二木教授の医療時評」(227)『文化連情報』2025年1月号(562号):33-38頁) ……2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算226回: 2024年分の10: 論文) ……8頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介(その240) -最近知った名言・警句…12頁
4. 私が毎月読むチェックした日本語の本・論文の紹介(第44回) ……15頁

247号: 2025年2月5日 (24頁)

- 論文：「かかりつけ医機能が発揮される制度整備」の評価とそれへの対応

(「二木教授の医療時評」(228)『文化連情報』2025年2月号(563号):26-34頁) ……2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算227回: 2024年分の11: 論文) ……10頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介(その241) -最近知った名言・警句…16頁
4. 私が毎月読むチェックした日本語の本・論文の紹介(第45回) ……18頁

248号: 2025年3月5日 (31頁)

- 論文：診療報酬引き下げによる医師の地域偏在は正に困難—50年間の診療報酬誘導策の検証(「二木教授の医療時評」(229)『文化連情報』2025年3月号(564号):28-36頁) ……2頁
- インタビュー：医療・社会保障費抑制は今夏の参議院選挙後に加速する可能性(『国際医薬品情報』2025年1月27日号:14-19頁) ……10頁
- 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算228回: 2024年分の12: 10論文) ……17頁
- 私の好きな名言・警句の紹介(その242) -最近知った名言・警句…24頁
- 私が毎月読むチェックした日本語の本・論文の紹介(第46回) ……26頁

249号: 2025年4月5日 (22頁+別ファイル)

- 論文：私が高額療養費制度の患者自己負担増に強く反対する理由

(「二木教授の医療時評」(230)『文化連情報』2025年4月号(565号):28-37頁) ……2頁

2. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算229回: 2025年分の1: 7論文) ……12頁

3. 私の好きな名言・警句の紹介(その243) -最近知った名言・警句…17頁

4. 私が毎月読むチェックした日本語の本・論文の紹介(第47回) ……19頁

番外：大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私の推薦図書(2025年度版,ver.25)…別ファイル(25院本推薦訂.pdf)

250号: 2025年5月5日(29頁)

- 論文：厚労省と石破首相は高額療養費制度見直しでなぜ判断ミスを重ねたのか？（「深層を

- 読む・真相を解く（153）」『日本医事新報』2025年4月5日号（5267号）：58-59頁）…2頁。
2. 論文：私が「生活習慣病」の用語見直しが必要と考える理由－日本学術会議主催フォーラムでの講演（「二木教授の医療時評」（231）『文化連情報』2025年5月号（566号）：28-38頁）………5頁
 3. 最近表された興味ある医療・政策学関連の英語論文（通算230回：2025年分その2：8論文）………15頁
 4. 私の好きな名言・警句の紹介（その244）－最近知った名言・警句……………20頁
 5. 私が毎月読みこなした日本語の本・論文の紹介（第48回）……………21頁

251号：2025年6月5日（22頁+別ファイル）

251号の目次は以下の通りです（22頁+別ファイル）

1. 論文：自公維三党合意が「念頭に置く」国民医療費の「最低4兆円削減」が荒唐無稽である理由（「二木教授の医療時評（233号）」『文化連情報』2025年6月号（567号）：30-37頁）
………2頁
2. 最近表された興味ある医療・政策学関連の英語論文（通算231回：2025年分その3：7論文）………9頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その245）－最近知った名言・警句……………13頁
4. 私が毎月読みこなした日本語の本・論文の紹介（第49回）……………15頁

252号：2025年7月5日（24頁）

1. 論文：診療報酬単価が1点10円に固定された経緯を探る（「二木教授の医療時評（234号）」『文化連情報』2025年7月号（568号）：30-36頁）……………2頁
2. 最近表された興味ある医療・政策学関連の英語論文（通算232回：2025年分その4：7論文）………9頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その246）－最近知った名言・警句……………14頁
4. 私が毎月読みこなした日本語の本・論文の紹介（第50回）……………16頁

253号：2025年8月5日（30頁）

1. 論文：「骨太方針2025」の医療・社会保障改革方針の複眼的検討（「二木教授の医療時評（234号）」『文化連情報』2025年8月号（569号）：38-45頁）……………2頁
2. インタビュー：参政党の医療公約「終末期の延命医療費の全額自己負担化」医療政策学者と検証する（医療記者、岩永直子のニュースレター」2025年7月10日）……………9頁
3. 最近表された興味ある医療・政策学関連の英語論文（通算233回：2025年分その5：6論文）………20頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その247）－最近知った名言・警句……………24頁
5. 私が毎月読みこなした日本語の本・論文の紹介（第51回）……………25頁

254号：2025年9月5日（29頁）

1. 論文：「令和7年版厚生労働白書」第1部をどう読むか？（『日本医事新報』2025年8月9日号（5285号）：56-57頁）……………2頁
2. 論文：コロナ禍は日本の医療をどう変え、どう変えなかつたか？－「かかりつけ医の制度化」論の盛衰にも触れつつ（「二木教授の医療時評（235号）」『文化連情報』2025年9月

号（570号）：30-39頁）	5頁
3. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算234回：2025年分の6：7論文）	15頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その248）—最近知った名言・警句	20頁
5. 私が毎月読みチェックした日本語の本・論文の紹介（第52回）	22頁

255号：2025年10月5日（28頁+別ファイル）

1. 論文：2022年以降生じた医療費・社会保障費抑制の3つの『逆流』とは何か？（「深層を読む・深層を解く（158）」『日本医事新報』2025年9月6号（5289号）：58-59頁）	2頁
2. 論文：日本と世界の死亡前医療費割合－文献レビュー（「二木教授の医療時評（236）」『文化連情報』2025年10月号（571号）：32-39頁）	5頁
3. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算235回：2025年分の7：論文）	13頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その249）—最近知った名言・警句	18頁
5. 私が毎月読みチェックした日本語の本・論文の紹介（第53回）	20頁

256号：2025年11月5日（23頁）

1. 論文：参政党の健康・医療政策の批判的・複眼的検討－特異性と他野党との共通性（「二木教授の医療時評（237）」『文化連情報』2025年11月号（572号）：34-42頁）	2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算236回：2025年分の8：論文）	10頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その250）—最近知った名言・警句	15頁
4. 私が毎月読みチェックした日本語の本・論文の紹介（第54回）	17頁

257号：2025年12月5日（25頁+別ファイル）

1. 論文：高市自民党総裁の医療公約は積極的だったが 高市自維連立政権の医療政策は不透明（「二木教授の医療時評（238）」『文化連情報』2025年12月号（573号）：28-37頁）	2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算237回：2025年分の9：7論文）	11頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その251）—最近知った名言・警句	16頁
4. 私が毎月読みチェックした日本語の本・論文の紹介（第55回）	18頁
補. 「ニュースレター」2025年総目次（246～257号、全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き）（別ファイル：25二木NL目次.pdf）	

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2025年(246号～257号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計87論文 (累計1640論文, since 2005)

※特集全体の紹介は1論文に換算

246号(2025.1.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算226回)(2024年分その10:7論文)

○NHSの待機的医療【手術】の独立【民間】部門への外注が患者、医療専門職及び英国の医療制度のアウトカムに与えた影響：文献の迅速ナラティブ・レビュー

Fletcher S, et al: The impact of NHS outsourcing of elective care to the independent sector on outcomes for patients, healthcare professionals and the United Kingdom health care system: A rapid narrative review of literature. Health Policy 150, December 2024, 105166, 8 pages [文献レビュー]

○ノルウェーにおける選択の自由拡大改革が手術待ち日数と病院受診に与えた影響

Ge G, et al: Impacts of Norway's extended free choice reform on waiting times and hospital visits. Health Economics 33 (4):779-803,2024 [量的研究]

○健康の政治的要因：ヨーロッパにおける医療の民営化と国民の健康

Moise AD, et al: Political determinants of health: Health care privatization and population health in Europe. Journal of Health Politics, Policy and Law 49 (5):769-182,2024 [量的研究・国際比較研究]

○健康の政治的要因としての連帯：EUの競争政策からの洞察

Solidarity as a political determinant of health: Insights from EU competition policy. Journal of Health Politics, Policy and Law 49 (5):783-803,2024 [法学・理論研究]

○【アメリカにおける】健康の社会的要因産業：2年後

Goldberg ZN, et al: The social determinants of health industry: Two years on. International Journal of Social Determinants of Health and Health Services 54 (4):344-351,2024 [量的研究]

○アメリカの医師のバーンアウトとプロレタリア化：理論的再構成

Michalec B, et al: U.S. physician burnout and the proletarianization of U.S. doctors:A theoretical reframing. Social Science & Medicine 358 (2024) 117224, 8 pages [理論研究・評論]

○アメリカのソーシャルワーカー数の様々な推計：どのデータソースを用いるべきか？

Lombardi BM, et al: Varying estimates of social workers in the United States: Which source to use? Medical Care Research and Review 81 (5):408-416,2024 [調査報告]

247号(2025.2.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算227回)(2024年分その11:7論文)

○【2007-2008年世界金融危機後の】緊縮【政策】は多くの高所得国での死亡率の停滞トレンドに影響しているか？体系的文献レビュー

Broadbent P, et al: Is austerity responsible for the stalled mortality across many high-income countries? A systematic Review. International Journal of Social Determinants of Health and Health Services 54(4):362-379,2024 [文献レビュー]

○【アメリカにおける】遠隔診療の【メディケア】医療費に対する影響：論争の枠組みの再検討

Uscher-Pines L, et al: The effect of telehealth on spending - Reframing the debate. JAMA 332(18):1513-1514,2024 [評論]

○アメリカの急性期病院の患者・家族諮問委員会が患者の社会的ニーズへの注意を喚起する役割

Heard LR, et al: The role of patient and family advisory boards in promoting greater attention to patient social needs by U.S. acute care hospitals. Health Care Management Review 49(4):311-322,2024 [量的研究]

○アメリカでの救急部門の小児受け入れ体制向上の費用対効果と健康への影響

Weyant C, et al: Cost-effectiveness and health impact of increasing emergency department pediatric readiness in the US. Health Affairs 43(10):1370-1378,2024 [量的研究 (シミュレーション)]

○費用効果分析が健康格差を固定化する危険

Basu S, et al: The risk of perpetuating health disparities through cost-effectiveness analysis. Health Affairs 43(8):1165-1171,2024 [評論]

○【アメリカにおける】レジデント医の労働組合結成－歴史的手段再訪

Ahmed A, et al: House staff unionization - A historical tool revisited. NEJM 391(11):1060-1064,2024 [評論・歴史研究]

○アメリカの人種的に多様な医療労働者の、労働組合加入と健康の自己評価との関係：労働のスケジュールと【勤務】場所に対するコントロールの役割

Haro-Ramos AY, et al: The relationship between union membership and self-health among racially diverse U.S. healthcare workers: The role of control over work. Social Science & Medicine 358 (October 2024) 117254,10 pages [量的研究]

248号(2025.3.5)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算228回)(2024年分その12:10論文)

○インフレ要因を【アメリカの】メディケア医師診療報酬表に導入する強みと弱み

Chernew ME, et al: Strength and weakness of introducing an inflation factor into the Medicare physician fee schedule. Health Affairs 43(12):1689-1697,2024 [政策研究・提言]

○アメリカの非営利病院の税制優遇の推定

Plummer E, et al: Estimation of tax benefit of US nonprofit hospitals. JAMA 332(20):1732-1740,2024 [量的研究]

○最終損益を超えて：【アメリカの】非営利病院における慈善医療、地域貢献、及び免税

Zare H: Beyond the bottom line: Assessing charity care, community benefits, and tax exemptions in the nonprofit hospitals. Journal of Healthcare Management 69(6):439-454,2024 [量的研究]

○ [アメリカにおける] プライベート・エクイティ [・ファイド] に買収された病院 [チェーン (HCA) のその後] の行動

Richards MR, et al: Hospital behavior over the private equity life cycle. Journal of Health Economics 97(2024) 102902, 27 pages [事例研究]

○ [アメリカにおける] 介護者報告型ホスピスの質—プライベート・エクイティ企業と株式公開企業所有 [とそれ以外の所有者の比較]

Soltoff AE, et al: Caregiver-reported quality in hospices owned by private-equity firms and publicly traded companies. JAMA 332(23):2029-2031,2024 [量的研究]

○ [アメリカにおける] プライベート・エクイティの [医療] 所有の時代に患者と社会を守る: 政策 [形成] のための課題と機会

Cal C, et al: Protecting patients and society in an era of private equity provider ownership: Challenges and opportunities for policy. Health Affairs 43 (5):666-673,2024 [評論]

○ [アメリカの] 公的サービスの質を評価する: 営利、チェーン及び病院市場における集中

Kunz JS, et al: Assessing the quality of public services: For-profits, chains, and concentration in hospital market. Health Economics 33 (9):2162-2182,2024 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 病院を開設している病院グループにおける統合と患者経験価値との関係: 統合の水平的形態と垂直的形態の探究

Torres JS, et al: Associations between integration and patient experience in hospital-based health systems: An exploration of horizontal and vertical forms of integration. Journal of Healthcare Management 69 (5):321-334,2024 [量的研究]

○ [アメリカの] 成人メディケイド受給者のソーシャルニーズ [を評価する] ケースマネジメント・サービスの強度と病院入院と [病院の] 救急部門受診 [との関連]

Guo C, et al: Intensity of social needs case management services and changes in hospital and emergency use among adult Medicaid beneficiaries. Medical Care 62 (12):783-790,2024 [量的研究]

○ [韓国における] 統合された長期医療・ケアニーズとサービス利用をモニターするための実用的枠組みと指標の開発

Kim H, et al: Development of practical framework and indicators for monitoring integrated health and care needs and service use. Health Policy 149, November 2024, 105167, 20 pages [尺度開発研究]

○ [アメリカにおける] 病院を開設している病院グループにおける統合と患者経験価値との関係: 統合の水平的形態と垂直的形態の探究

Torres JS, et al: Associations between integration and patient experience in hospital-based health systems: An exploration of horizontal and vertical forms of integration. Journal of Healthcare Management 69 (5):321-334,2024 [量的研究]

249号(2025.4.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算229回)(2025年分その1:7論文)

○イギリス [のNHS病院] 救急部門への避けられる受診を患者の視点から考える—再帰的2変量プロビット法

Calastri C, et al: Avoidable visits to UK emergency departments from the patients perspective: A recursive bivariate probit approach. Health Policy 154 (April 2025) 105265, 6 pages [量的研究]

○医療におけるプライベート・エクイティの隆盛—アメリカのみの現象ではない

Singh W, et al: The rise of private equity in health care. NEJM 392 (7):627-629,2025 [評論]

○プライベート・エクイティ [企業] に買収されたアメリカの病院の [買収後3年間の]
患者医療エクスペリエンスの変化

Bhatla A, et al: Changes in patient care experience after private equity acquisition of US hospitals. JAMA 336 (6):490-497,2025 [量的研究]

○ [アメリカで急増している] 病院と医師、病院と急性期後医療 [施設] の垂直統合後の
費用、質と [医療サービス] 利用：体系的文献レビュー

Harri A, et al: Cost, quality, and utilization after hospital-physician and hospital-post acute care vertical integration: A systematic review. Medical Care Research and Review 82 (1):3-42,2025 [文献レビュー]

○病院・医師の垂直統合が医師の処方するの医薬品の消費と利用に与える影響

Levin JS, et al: Impact of hospital-physician vertical integration on physician-administered drug spending and utilization. Health Economic 34 (2):345-367,2025 [量的研究]

○イギリスNHSの75年：過去、現在及び今後の課題

Williams B: The British NHS at 75: Past, contemporary, and future challenges. International Journal of Determinants of Health and Health Services 55 (1):76-87,2025 [歴史研究]

○EUにおける身体活動政策の実施と [実際の] 身体活動レベル：我々は政策と実践のギャップを埋めつつあるか？

Whiting S, et al: Physical activity policy implementation and physical activity levels in the European Union: Are we on track to close the gap between policy and practice. Health Policy 151 (January 2025) 105200, 8 pages [国際比較研究・量的研究]

250号(2025.5.5)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算230回)(2025年分その2:8論文)

○ [アメリカでは医薬品の] 自己負担は手に負えなくなっている—迅速承認された医薬品の経済毒性を減らす

Ubel PA, et al: Out of pocket getting out of hand - Reducing the financial toxicity of rapid approved drugs. NEJM 392 (8):729-731,2025 [評論]

○アメリカにおける2018～2022年の成人の医薬品費と非常に高額な処方薬利用者の特性

Nguyen JL, et al: Adult pharmacy costs and characteristic of very high-cost prescription drug users in the United States, 2018-2022. Medical Care 63 (1):631-638,2025 [量的研究]

○イタリアNHSにおける私的アクセスと公的アクセス：プロペンシティスコア・マッチングを用いて、民間医療保険の選択増加に光を当てる

Public versus private access in the Italian NHS - The use of propensity score matching to provide more insight on the increasing adoption of voluntary health insurance Health Policy 154(April 2025) 105271,9 pages [量的研究]

○【イギリスNHSにおける】乳がん手術の待ち日数面での社会経済的不平等

Matias MA, et al: Socioeconomic inequalities in waiting times for breast cancer surgery. Health Economics 34(2):203-224,2025 [量的研究]

○入院待ち日数における【データの】集約バイアスと社会経済的勾配

Carlsen F, et al: Aggregation bias and socioeconomic gradients in waiting time for hospital admissions. Health Economics 34(3):371-375,2025 [量的研究]

＜アメリカにおけるプライベート・エクイティ企業の医療機関買収（3論文）＞

○アメリカ医療でのプライベート・エクイティ【企業】の拡大と影響

Unruh L, Rice T: Private equity expansion and impacts in united states healthcare. Health Policy 155 (May 2025) 105266, 8 pages [文献レビュー]

○プライベート・エクイティ【企業】による買収前後の病院の固定資産の減少：JAMA誌 Letter欄での小論争

① Schrier E, et al :Hospital assets before and after private equity acquisition. JAMA 332(8):669-671, August 27,2024. [量的研究]

② Larkin S : Comment. JAMA 333(3):257, January 21,2025.

③ Schrier E, et al: In reply. JAMA 333(3):257-258, January 21,2025.

○【アメリカにおける】プライベート・エクイティ【企業】に買収された【眼科グループ】診療所では医師【・検眼士】の離職が増加した

Singh Y, et al: Physician turnover increase in private equity-acquired physician practice. Health Affairs 44(3):280-287, 2025 [量的研究]

251号(2025.6.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算231回)(2025年分その3:7論文)

○【ドイツにおける】GPの退職が患者の医療利用と健康の一側面に与える影響

Monsees D, et al: The effects of resigning GPs on patient healthcare utilization and some implications for health. Health Economics 34(5):932-955,2025 [量的研究]

○【アメリカにおける】医療専門職医師不足地域でのボーナス支払いとメディケアの医療アクセス

Brunt CS: Health professional shortage area bonus payments and access to care under Medicare. Health Economics 34(3):601-630,2025 [量的研究]

○【アメリカにおける】救急外来を受診したが診察を受けずに帰った患者の救急外来再受診

Evans CF, et al: Emergency department visits after having left without being seen. JAMA 333(9):806-808,2025 [量的研究]

○【アメリカにおける】田舎に居住する患者が手術を受けるための搬送時間の【2010-2020年の】変化

Mullens GL, et al: Trends in travel time to obtain surgical care for rural patients. JAMA 333(16):1453-1455,2025 [量的研究]

○バランスをとる－医師の団体交渉権の強化と患者の保護

Ramesh T, et al: Striking a balance - Advancing physician collective-bargaining rights and patient protections. NEJM 392 (3):209-211,2025 [評論]

○経済的重荷尺度と成人の健康との関連：[アメリカで発表された文献の] 体系的レビュー

Samuel LJ, et al: Financial strain measures and association with adult health: A systematic literature review. Social Science & Medicine 364 (2025) 117531, 33 pages [文献レビュー]

○ガイドラインと〔医療専門職の〕行動変化のギャップに注意して下さい：医療における効果についての体系的文献レビューと考察

Gandolfi S, et al: Please mind the gap between guidelines & behavior change: A systematic review and a consideration on effectiveness in healthcare. Health Policy 151 (January 2025) 105191 (9 pages) [文献レビュー]

252号(2025.7.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算232回)(2025年分その4:7論文)

○第二期トランプ政権：ヨーロッパの医療政策立案者のための課題と好機の政策分析

Greer SL, et al: The second Trump administration: A policy analysis of challenges and opportunities for European health policymakers. Health Policy 158 (August 2025) 105350, 8 pages [政策研究]

○イングランドNHS改革の10か年計画 集中治療 労働党[政権]はNHSを救う好機を得ており、それに失敗してはならない

Britain's ten-year health plan Intensive care Labour has an opportunity to save the NHS. It must not falter. The Economist May 31, 2025:pp.9,44-45 [レポート]

○医療組織におけるデジタル化と質マネジメントとの関連：体系的文献レビュー

Rego K, et al: Relating digitalization and quality management in health care organizations: A systematic review. Health Care Management Review 50(2):112-121,2025 [文献レビュー]

○ドイツで〔法定医療保険に〕2022年に導入されたデジタル健康アプリの償還価格上限制：最近の発展

Roediger H, et al: The introduction of maximum reimbursement prices for digital health applications in Germany in 2022: Current developments. Health Policy 155 (May 2025) 105284, 7 pages [政策研究]

○プライマリケアへの平等なアクセス－ドイツにおける〔プライマリケア医の適切な〕空間的配置のためのレファレンス

Haering A, et al: Equal access to primary care - A reference for spatial allocation in Germany. Health Policy 158 (August 2025) 105364, 7 pages [量的研究 (シミュレーション)]

○〔アメリカにおける〕社会経済的に恵まれない人々の2018-2022年の回避可能ではない疾患の救急外来受診は〔恵まれた人々より〕過少かもしれない

Leuchter RK, et al: Socioeconomically disadvantaged groups may have underused the emergency department for nonavoidable visits, 2018-22. Health Affairs 44(3):322-333,2025 [量的研究]

○日本の【後期】高齢者の【コロナ】パンデミック後期【第6波と第7波】における医療利用

Fu R, et al: Healthcare utilization among Japanese older adults during later stage of prolonged pandemic. Scientific Reports (April 2025) 15:13813, 10 pages (open access) [量的研究]
<https://www.nature.com/articles/s41598-025-98908-x>

253号(2025.8.5)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算233回)(2025年分その5:6論文)

○韓国のレジデント医のストライキが死亡率に与えた影響

Kim J-H, et al: The impact of a medical residents' walkout on mortality rates in South Korea. Health Policy 159 (2025 September) 105375, 8 pages [量的研究]

○医師ストライキと死亡率: 文献レビュー

(Cunningham SA, et al: Doctors' strike and mortality: A review. Social Science and Medicine: 67(11):1784-1788, 2008) (「ニュースレター」55号 (2009年3月))

○医療【従事者の】ストライキが患者死亡率に与える影響: 観察研究の体系的文献レビューとメアアナリシス

Essex R, et al: The impact of health care strikes on patient mortality: A systematic review and meta-analysis of observational studies. Health Services Research 57(6):1218-1234, 2022) (「ニュースレター」223号 (2023年2月) (本論文でも引用)

○【韓国における】補足的民間医療保険【加入の有無】と健康ショック後の家計の借金、医療利用、医療費【との関連】

Park S, et al: Supplementary private health insurance and household debt, health care utilization, and medical spending following a health shock. International Journal of Social Determinants of Health 55(2):187-198,2025 [量的研究]

○【イタリアの山岳部における】がん医療の分散化による【患者の長時間の】通院負担の軽減と環境への影響

Fattore G, et al: Reducing the burden of travel and environmental impact through decentralization of cancer care. Health Services Management Research 38(1):1-9,2025 [量的研究]

○OECD加盟国における外来医療の金融化の趨勢: われわれは何を知っているか?

Suzuki E, et al: Trends in the financialization of outpatient care across OECD countries: What do we know? OECD Health Working Papers No.179, May 21, 2025, 52 pages [国際比較研究]
(ウェブ上に公開)

○【アメリカ】医療の「企業化」を定義する

Brown ECF: Defining health care "corporatization." NEJM 393(1):1-3, 2025 [評論]

○トランプケア (アメリカ) 共和党は過去15年で最大の医療改革に乗り出す

254号(2025.9.5)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算234回)(2025年分その6:7論文)

○ [アメリカでの] 医療保険 [カバレッジ] が死亡率に与える影響

Levy H, et al: The impact of health insurance on mortality. Annual Review of Public Health 2025 46 : 541-550 [文献レビュー]

<プライマリケア関連(3論文)>

○アメリカの [外来の] プライマリケア [医] 費用を推計する 共通の方法に向けて

Zhan C, et al: Estimating primary care spending in the United States Toward a common method. Medical Care 63 (7):514-519,2025 [量的研究]

○ [スウェーデンにおける] プライマリケア提供者に対する人頭払いにおけるリスク調整 患者の社会経済的状態をどのように考慮するかは重要か?

Ellegard LM, et al: Risk adjustment in capitation payments to primary care providers Does it matter how we account for patients' socioeconomic status? Medical Care 63 (6):430-435,2025 [量的研究]

○ [デンマークの] 医師は混合支払い方式において追加的人頭払いに反応するか?

Kongstad LP, et al: Do physicians respond to additional capitation payments in mixed remuneration schemes? Health Economics 34 (6):1143-1159, 2025 [量的研究]

<在宅ケア関連(3論文)>

○ [アメリカにおける在宅ケアのアウトカム: ケアの提供者は問題か? [ケア提供者が違うと利用者のアウトカムは変わるか?]

Coe NB, et al: Home-based care outcomes: Does the care provider matter? Health Economics 34 (8):1487-1506, 2025 [量的研究]

○イングランドにおける公費負担の成人ソーシャルケア (ASC)はインフォーマルで無報酬のケアラーのQOLに影響を与えるか?

Longo F, et al: Does publicly-funded Adult Social Care impact informal and unpaid carers' quality of life in England. Health Economics 34 (7):1217-1238,2025 [量的研究]

○ヨーロッパ [10か国] における成人インフォーマルケアの隠れた価値

Costa-Font, et al: The hidden value of adult informal care in Europe. Health Economics 34 (4):791-812,2025 [量的研究]

255号(2025.10.5)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算235回)(2025年分その7:7論文)

○終末期ケアの現状を (低価値医療・介入の) 停止により打破する

Malhorta C, et al: Breaking the status quo in the end-of-life care through de-implementation. Journal of Internal Medicine 298 (2):97-106,2025 [評論]

○ [アメリカの病院の] 救急外来で始められる [高齢者対象の] 緩和ケア クラスター・ランダム化臨床試験 Grudzen CR, et al: Palliative care initiated in the emergency department A cluster randomized clinical trial. JAMA 333 (7):599-608,2025 [量的研究]

○ [アメリカの] 地域在住の認知症を持つ個人と介護者に対する緩和ケアプログラム IN

Sachs GA, et al: Palliative care program for community-dwelling individuals with dementia and caregivers The IN-PEACE randomized clinical trial. JAMA 333(11):962-971,2025 [量的研究]

○連合王国のアカデミックな医療経済学における女性【の地位向上】：1970年代以降の進歩の評価

Sheard S, et al: Women in UK academic health economics: An evaluation of progress since 1970s. Social Science & Medicine 368(2025) 117794, 9 pages [混合研究法]

＜患者の自己負担関連（3論文）＞

○低所得世帯に対する【処方】医薬品の自己負担廃止の影響：【カナダ・】ブリティッシュコロンビア州の接続行政データを用いた比較分割時系列解析

Sharma K, et al: The impact of eliminating out-of-pocket payments for medicines on low-income households: A controlled interrupted time series analysis using linked administrative data from British Columbia. Health Policy 155 (May 2025) 105270, 7 pages [量的研究]

○メディケア【公的医療保険】緊縮改革と患者の自己負担：オーストラリアのがん患者の経験

Naghsh-Nejad, et al: Medicare austerity reforms and patient out-of-pocket costs: The experience from Australian cancer patients. Health Policy 155 (May 2025) 105296, 7 pages [量的研究・政策研究]

○オーストラリアの慢性疾患を持つ人々とその家族の自己負担医療費の生きた経験：体系的質的文献レビュー

Desborough J, et al: Lived experience of out-of-pocket costs of health care and medicines by people with chronic conditions and their families in Australia: A systematic review of the chronic literature. Health Policy 158 (August 2025) 105359 [質的文献レビュー]

256号(2025.11.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算236回)(2025年分その8:7論文)

○田舎に限定した経済的インセンティブはプライマリ・ヘルスケアへのアクセスの平等を改善するか？：オーストラリアからのエビデンス

Saxby K, et al: Do rurality-based financial incentives improve equity of primary healthcare access? Evidence from Australia. Health Economics 34(9):1679-1690,2025 [量的研究・政策効果研究]

○「ITは本当にすべての人にとって良いことなのか？」フランス医療の文脈での病院DXに対する様々な利害関係者の見解

Giangreco A, et al: "Is it really good for all?" Evidence of different stakeholders' perspectives on the digital transformation of hospitals in the French health context. Health Services Management Review 38(3):173-183,2025 [質的研究 (GTA)]

○【アメリカの】テレヘルスの【継続的】導入病院、非導入病院、及び【調査期間中の】新規導入病院の財政的パフォーマンス：田舎と都市の比較

Karim SA, et al: Financial performance of hospital telehealth adopters, nonadopters, and

switchers: A rural-urban comparison. Journal of Healthcare Management 70(2):93-107,2025 [量的研究]

○医療情報技術を用いた情報共有の価値：体系的文献レビュー

Gnanlet A, et al: Value of information sharing in using healthcare information technology: A systematic review. Journal of Healthcare Management 70(2):108-125,2025 [文献レビュー]

○【アメリカの】非営利病院のCEOと労働者の給与格差は2009～2023年に拡大した

Fang CC, et al: pay gap between nonprofit hospital CEOs and employees grew, 2009-23. Health Affairs 44(8):953-962,2025 [量的研究]

○人生満足度の改善を目指した234介入の効果：迅速体系的文献レビュー

Tiley K, et al: Effectiveness of 234 interventions to improve life satisfaction: A rapid systematic review. Social Science & Medicine 366(2025) 117662 : 12 pages [文献レビュー]

○【アメリカ・】メディケイドの心理療法給付は犯罪を予防する

Hegland TA: Medicaid coverage of psychological treatment prevents crime. Health Economics 34(9):15560-1577,29025 [量的研究]

257号(2025.12.5)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算237回)(2025年分その9:7論文)

○『図表でみる世界の保健医療 2025』

OECD: Health at a Glance 2025 OECD Indicators, November 13, 2025, 241 pages (Web上に公開)

○医療部門の連帯感の社会経済的基礎：台湾の医療制度に対する市民の態度の横断面調査

Yeh M-J, Saltman RB: The sociopolitical foundations of health sector solidarity: A cross-sectional study] of public attitudes toward the health system in Taiwan. Health Care Analysis 33(3) :232-247,2025 [事例研究・量的研究]

○効率の探究は健康の平等にとって有害か？ OECD加盟国における過去20年間の健康の効率・平等の結びつきの検証

Bousmah M-a-Q, et al: Is the quest for efficiency harmful to health equity? An examination of the health efficiency-equity nexus in OECD countries over the past two decades. Social Science & Medicine 383(2025) 118379, 6 pages [量的研究]

○アメリカとヨーロッパにおける富と死亡率の関連

Machado S, et al: Association between wealth and mortality in the United States and Europe. NEJM 392(13):1310-1319,2025 [量的研究・国際比較研究]

○経済的ショックと乳児の健康：アメリカでの【中国からの】輸入競争の世代間の【悪】影響

Ukil P: Economic shocks and infant health: The intergenerational effects of import competition in the United States. Health Economics 34(6):1121-1142,2025 [量的研究]

○ヨーロッパ全体での医療利用のジェンダー差：ヨーロッパ健康インタビュー調査から得られたエビデンス

Golineli D, et al: Gender differences in health care utilization 162 (December 2025) 105448, 9

pages [量的研究]

○批判的視点：健康に関連した社会的ニーズのスクリーニングとフォローアップについての【アメリカの】医療ソーシャルワーカーの早期の洞察

DeVos TV, et al: Critical perspectives: Medical social workers' early insights on health-related social needs screening and follow-up. Journal of Healthcare Management 70(3):205-219,2025 [質的研究（インタビュー調査）]

「私の好きな名言・警句の紹介」2025年分 人名索引

注：カッコ内は「ニュースレター」の号数。各行ごとに「ニュースレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフ、雑誌の無署名・ペンネーム記事はその名称（「 」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

茨木のり子(246=21),池上彰(247),井上ひさし(247),大島伸一(247=23),東浩紀(248),上田敏(249=71),上野千鶴子(250,256=15),遠藤周作(252=78),秋山仁(254,257),オルテガ(255=23),石破茂(255),天野篤(256),小田嶋隆(256),エンゲルス(257)

か行

クーンツ,DR(246),小林よしのり(246),窪田新之助(247),姜尚中(248),殻田恵二(249),厚生省の1973年採用担当者(250),小竹雅子(251),小山路男(251=66),孔子(252=105),上川内あずさ(252),頭木弘樹(252),グラムシ(252=7),キム・ファーレイ(253),栗原正紀(253),北嶋誠(254),「ゴッドファーザー・パート3」(255),北川進(256),加藤登紀子(257),クルツ,Jdl(257)

さ行

サルトル(246=108,254=108),千住博(246),酒井邦嘉(246),シェインバウム,C(246),桜庭一樹(248),サンデル,M(248),佐藤卓己(248),佐藤藍子(248=8),鈴木俊貴(252),瀬戸内寂聴(254),坂口教子(256),斎藤美奈子(257)

た行

暉峻淑子(246),谷川俊太郎(246,247),竹中淳(246),戸谷洋志(246),トランプ(246),ダーウィン(247),武井壮(249),照屋年之(249),チエ・スンファ(249),武見太郎(251),高遠菜穂子(251),テリー伊藤(252),高橋源一郎(253,254),垂水秀夫(254,255),東畑開人(255),玉鷲(256)

な行

中西準子(24),中村桂子(246),永井玲衣(247),ネイスビッツ(248),二木立(249),中村秀一(250),中村清吾(251),野村克也(256=21),仲代達矢(257)

は行

プリニウス(246=108,254=108),豊昇龍(248),倍賞千恵子(248),馬場景子(249),広島原爆ドームの募金趣意書(249),藤嶋健人(249),ボーヴォワール,Sd(250),ポンペ(253),平山賢一(254),早川忠則(255),ヘーゲル(255),福田こうへい(256),ハーラン,P(256),ハラリー,F(257),ボランスキ,Z(257)

ま行

ムヒカ,J(251),水野肇(252),松浦昭彦(253),森島績(256),松本清張(256=50),宗次徳二(256),

マムダニ,Z(257),マーシャル博士(257=64),マルクス(257),増田善信(257)

や行

養老孟司(247),吉田義男(249),山形浩生(250),山村雄一(251,252),湯川秀樹(252=96),吉崎達彦(255),吉野孝之(255)

ら行

レーニン(246=27,249),ロマン・ロラン(252=7)

わ行

若月俊一(247=23,254=23,92)